

5 今年度の重点課題（学校アクションプラン）

	令和6年度 富山県立八尾高等学校アクションプラン	－ 1 －
重点項目	学習活動（学習指導の充実）	
重点課題	「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の推進、改善。	
現 状	授業アンケートを参考にしながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善に取り組んでいるが、年々向上していた肯定的回答比率の数値が昨年初めて低下した。今後は、さらに生徒が協働して学ぶことができる環境作りを目指し、より能動的・意欲的に取り組もうとする姿勢を育てる必要がある。	
達成目標	「主体的・対話的で深い学びに関するアンケート項目の質問」において、肯定的回答をすべて80%以上にする。	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教科で公開授業を行い、担当する教科の授業と他教科の授業を見学する機会を設ける。見学者からの感想やアドバイスと教科部会での話し合いを通して情報交換を行い、学校全体の授業改善に努める。 ・「授業・学習に関するアンケート」の「主体的・対話的で深い学び」に関する生徒の回答から、授業分析や改善を行い、授業の質の向上に努める。 ・タブレットを効果的に使用した授業の実現に積極的に取り組み、ICT教育の推進に努める。 ・グループ(ペア)活動にも積極的に取り組み、より対話的で深い学びを目指す。 	

	令和6年度 富山県立八尾高等学校アクションプラン	－ 2 －
重点項目	学校生活（生徒指導）	
重点課題	規範意識の高揚と自己指導能力の育成	
現 状	<p>一日の学校生活を気持ちよくスタートするために、遅刻をせずに登校することは基本であり、時間を守ることは社会に出てからも必要不可欠なことである。また、クラスで仲間とともに学ぶという観点からも、環境を整える意味で大切なことである。昨年度、1年間で3回以上遅刻した生徒は全体の約13%であった。通院等でやむを得ず遅れる場合を除いて、生活習慣の乱れや安易な気持ちからの遅刻を減らしたい。</p> <p>また、私たちの生活に欠かせない存在となっている携帯電話（スマートフォン）はその機能の多さから使い方を誤るといろいろなトラブルを引き起こす可能性があり、また依存に陥りやすい。昨年度、1日3時間以上使用していると答えた生徒は全体の約36%であった。校内では使用しないといった校則を守ることはもちろん、家庭にいる時間も含めて、高校生活を有意義に過ごすためにどのように使用するかを考え、実行する力を養いたい。</p>	
達成目標	① 年間で3回以上遅刻をする生徒の割合が10%以下	② 携帯電話の使用について、自己目標を設定し、それを実行できた生徒の割合が70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等も含めた学校活動の様々な場面で、校則や時間を守る意識の向上を図る。特に携帯電話の使用に関しては保護者と連携を図り、SNSをはじめインターネットとの上手な付き合い方を身に付けさせる。 ・校風委員・生徒会を中心として、自然に挨拶ができる校風を作る。 ・校風委員が中心となった生徒自身が校則や携帯電話の使用について考える活動ができるように、委員会活動の充実を図る。 ・街頭指導を行い、交通安全について注意喚起を行う。 ・外部講師を招いた講座を企画し、規則やルールについて考える機会を持つ。 ・普段から生徒の様子に気を配り、規範意識に欠けた心配な行動があればすぐに注意喚起を行う。 	

令和6年度 富山県立八尾高等学校アクションプラン		- 3 -
重点項目	学校生活（心身の健康）	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康を保つ健康管理意識の向上 ・健康を守るために自ら改善に向けて行動しようとする力の育成 	
現 状	<p>昨年度の実践により、自身の健康に気を配っていると回答した生徒は、年間を通して増加がみられた。しかし、健康に気を配っていると回答した生徒が多い割には、4月に行った健康診断で治療が必要だと判断された生徒のうち、実際に治療に行った生徒は、すべての健康診断項目において対象の1割以下にとどまっていた。健康管理に関する意識に行動が伴うように、指導をしていく必要がある。豊かな生活を送るためには自身の健康管理への意識を持ち、行動することが大切であることに気づき、実践していけるようにしたい。</p>	
達成目標	健康診断後の有所見者の治療率が90パーセント以上。	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・保健日より等で、積極的に治療の呼びかけを行う。 ・保健委員が中心となった生徒の自主的な保健活動ができるように、委員会活動の充実を図る。 ・定期健康診断の事前・事後指導を通して、健康への関心を高める。 ・ワークシート等を利用し、個々が自分の健康管理について振り返る機会を設ける。 	

令和6年度 富山県立八尾高等学校アクションプラン		- 4 -																																										
重点項目	進路支援（進路指導の充実）																																											
重点課題	より高いレベルでの進路実現の促進																																											
現 状	<p>(1)昨年度卒業生の9月進路希望調査時の第一志望と実際の進路決定状況は下の表の通りで、校種別の第一志望達成は151名中127名の約84%であった。ここ数年、9月志望時に四年制大学を志望する生徒の割合が増えているが、最終的に短大や専門学校に進学する生徒が増加した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>大学進学</th> <th>短大進学</th> <th>専門進学</th> <th>その他</th> <th>就職</th> <th>志望 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学</td> <td>96名</td> <td>8名</td> <td>8名</td> <td>6名</td> <td>0名</td> <td>118名</td> </tr> <tr> <td>短大</td> <td>0名</td> <td>14名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>17名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>就職</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>進学先 計</td> <td>97名</td> <td>23名</td> <td>25名</td> <td>6名</td> <td>0名</td> <td>151名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)昨年度卒業生における国公立大学学校推薦型選抜の結果は、出願21名、合格13名、合格率61.9%であり、一昨年より低下した。大学入試における学校推薦型選抜・総合型選抜の割合は増加傾向にあり、国公立大学志望の強い生徒に対する指導方法を研究し、合格率を上げたいと考える。</p>			大学進学	短大進学	専門進学	その他	就職	志望 計	大学	96名	8名	8名	6名	0名	118名	短大	0名	14名	0名	0名	0名	14名	専門	1名	1名	17名	0名	0名	19名	就職	0名	0名	0名	0名	0名	0名	進学先 計	97名	23名	25名	6名	0名	151名
	大学進学	短大進学	専門進学	その他	就職	志望 計																																						
大学	96名	8名	8名	6名	0名	118名																																						
短大	0名	14名	0名	0名	0名	14名																																						
専門	1名	1名	17名	0名	0名	19名																																						
就職	0名	0名	0名	0名	0名	0名																																						
進学先 計	97名	23名	25名	6名	0名	151名																																						
達成目標	<p>(1)9月実施の進路希望調査における校種別の第一志望において、80%以上の生徒が目標を達成すること。（高い目標を掲げた生徒への進路支援）</p> <p>(2)国公立大学の学校推薦型選抜・総合型選抜の合格率70%以上を目指す。</p>																																											
方 策	<p>①学年との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路講話や学年集会などを通して、進路意識の高揚や学習意欲の向上を図る。 ・3学年の進学指導方針の立案・計画・実施の支援を積極的に行う。 <p>②進路指導委員会の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の問題点を把握し、とるべき方策を学校全体の共通理解として提示し、問題解決を図る。必要に応じて他の分掌とも連携する。 <p>③学校推薦型選抜指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年外の教員も含め、全教職員協力のもとで指導に当たる。 ・使用テキストや指導方法を記録・保存し、有効な指導法を次年度の指導に生かす。 																																											

令和6年度 富山県立八尾高等学校アクションプラン		－ 5 －
重点項目	特別活動（ボランティア活動の活性化）	
重点課題	地域の施設訪問やイベントなどへのボランティア活動に参加して、様々な世代や立場の方と交流し、人間的な成長を図るとともに、地域社会の一員としての自覚を持たせる。	
現 状	<p>本校生徒は、多くの地域の方々に支えられて学習活動を行っている。地域の方の理解のもと、福祉コースでは、社会福祉施設の見学や実習を行っている。また、吹奏楽部や郷土芸能部など、地域のイベントへの参加の依頼も多い。多くの方と触れ合うなかで、自分の役割を実感し、必要とされているという充実感を持つ生徒も多い。</p> <p>コロナ禍での制限が緩和され、今後、ボランティアの依頼が増加することが予想される。本校は、福祉コースに限らず、ボランティアを希望する生徒が多くいる。昨年は、のべ249名が参加した。</p>	
達成目標	ボランティア活動に参加した延べ人数が、昨年の延べ人数（249人）を上回る全校生徒の1/3の生徒が、ボランティア活動に参加する。	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ G o o g l e クラスルームを利用し、多くの情報を生徒に提供する。 ・ G o o g l e フォームを活用し、ボランティア希望者の集約、配分を行う。 ・ 福祉コース以外の生徒にも、ボランティア活動への参加を広く呼びかける。 	

令和6年度 富山県立八尾高等学校アクションプラン		－ 6 －
重点項目	その他（学校ホームページによる情報発信の活性化）	
重点課題	学校ホームページ更新回数を増やす。	
現 状	<p>本校の学校ホームページの更新については校務分掌上に位置づけ、運営を行っている。学校ホームページの組織的な運用はかなり進んできてはいるものの、一部の教員に依存する部分がある</p> <p>閲覧状況に関しては、ページ数よりも更新回数の方が、閲覧回数への影響が大きい傾向が見られる。ホームページ閲覧回数増をはかるため、昨年度は更新回数増の取り組みを進め、令和4年度の74回に対し、令和5年度は127回と大きく増加した。</p>	
達成目標	古くなって現状と合致しない情報を残さないことと、閲覧者に再び見を訪れようという意欲を持たせることの2点を目標として、更新回数は昨年を上回る135回と設定する。	
方 策	今年度より、学校の委員会活動としてホームページ制作委員会を発足させ、可能な範囲で行事の写真撮影、取材、原稿づくりを委員が行う。運営の一部を生徒が行うことにより、生徒の自主性、情報発信力の向上に繋がると期待される。	